

「保物セミナー2004の開催結果について」

日本保健物理学会 理事
(放射線医学総合研究所)
古川 雅英

本セミナーは、「保健物理に関するその時々話題や緊急性のある課題をテーマとして取り上げ、あまり格式ばらずに気楽に参加でき、またフランクに議論できる(セミナーのホームページより引用)」場として、前身の同様のセミナーを含め、20数回に渡って関西で開催されています。今回は下記により、昨年に引き続いて京都で開催されました。

期日：平成16年11月11日(水)、12日(木)

会場：エルイン京都

参加者数：約200名

主催：保物セミナー2004実行委員会
構成団体

日本保健物理学会、日本原子力学会、日本アイソトープ協会、
関西原子力懇談会、電子科学研究所

後援：文部科学省

協賛：医療放射線防護連絡協議会

京都府放射線技師会、日本放射線安全管理学会、
日本放射線技術学会、原子力安全技術センター、放射線影響協会、
放射線防護研究会、放射線計測協会、NPO 安心科学アカデミー、
応用物理学会放射線分科会、大学等放射線施設協議会、
大阪ニュークリアサイエンス協会、大阪府放射線技師会

運営委員会：委員長 辻本 忠 (電子科学研究所)、
副委員長 山本幸佳 (大阪大学)、五十棲泰仁 (京都大学)

ホームページ：<http://www.esi.or.jp/seminar.htm/>

プログラム

開会の挨拶 辻本 忠 (電子科学研究所)

セッション1 放射線診療の最前線と保健物理

座長 平岡真寛 (京都大学)

診断の部

- (1) PET装置と医療用サイクロトロン
- (2) PET検査の最前線
- (3) PET診断薬製造の紹介

向井孝夫 (京都医療短大)
加藤隆司 (国立長寿医療センター研究所)
井口俊男 (日本メジフィジックス)

治療の部

- (1) HIMACからの展開
- (2) 兵庫県の粒子線治療
- (3) 粒子線治療装置のための新しい加速器

曾我文宣 (放射線医学総合研究所)
菱川良夫 (兵庫県立粒子線医療センター)
森 義治 (高エネルギー加速器研究機構)

セッション2 ボイリング・ディスカッション (会場: ぱるるプラザ京都)

コーディネーター 豊田亘博 (千代田テクノ)

参加者: 88名、話題提供: 放射線管理分野の企業

セッション3 特別講演

座長 栗原紀夫 (日本アイソトープ協会)

講師 前田 肇 (原子力委員会委員)

演題 原子力の長期計画について

セッション4 ICRP2005年勧告の内容と問題点

座長 小田啓二 (神戸大学)

- (1) ICRP2005年勧告
- (2) ICRP新勧告の問題点
- (3) ICRP新勧告に対する国際対応委員会の意見
- (4) パネル討論 司会 金子正人 (放射線影響協会)

小佐古敏荘 (東京大学/ICRP第4専門委員会)
丹羽太貫 (京都大学/ICRP第1専門委員会)
藤元憲三 (放射線医学総合研究所)

セッション5 国際免除レベル (BSS) とクリアランスレベルの法令取り入れについて

座長 下 道國 (藤田保健衛生大学)

- (1) 障害防止法令改正の進捗状況について
- (2) クリアランスレベルの法令取り入れについて
- (3) 免除レベルとクリアランスレベルの整合性について
- (4) 総合討論

茶山秀一 (文部科学省)
小佐古敏荘 (東京大学)
米原英典 (放射線医学総合研究所)

コーディネーター 西澤邦秀 (名古屋大学)

コメンテーター 飯本武志 (東京大学)

閉会の挨拶 山本幸佳 (大阪大学名誉教授)